

令和7年度第1回 「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン を開催しました。

県農林水産部では、県産農林水産物の地産地消の促進とともに、安全・安心や美味しさなどの魅力を発信する「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを実施しています。

当所では、令和7年7月19日（土）に、今年度第1回目となる本キャンペーンを相馬市の浜の駅 松川浦で開催しました。

今回は、GAP についての PR を行うため、相双管内産 GAP 認証取得農産物の提供およびチラシの配布を通じて制度の内容や取組を周知し、制度の理解促進および県産農林水産物への信頼向上を図ることを目的に開催しました。さらに、県立相馬農業高校が生産した農産物等の販売会を同時開催することにより、高校生の視点で PR し、県産農産物の魅力を発信しました。

当日は、GAP や県産農産物に関するアンケート調査を実施し、回答者 200 名に、相双地方産の GAP 認証を取得している「甘房ルビー（ミニトマト）」^{あまふさ}を当所ブースにおいてプレゼントしました。また、県立相馬農業高校ブースでは、生徒の皆さんが農産物や加工品を販売し、多くの来場者との交流が見られました。

参加者からは、「このようなキャンペーンをもっと開催してほしい。」「GAP については知らなかったが、今後は意識したい。」などの前向きなご意見をいただきました。

当所では、今後もいただいたご意見を参考にしながら、地域と連携した地産地消の取組を推進してまいります。

GAP は、Good (良い) Agricultural (農業の) Practices (取組) の略で、農産物の安全を確保し、より良い農業経営を実現するために実施する取組。具体的には、「使用する水の安全確保」、「廃棄物の適切な処理」、「安全に作業するためのルール作り」、「安心して働くことができる環境の整備」、「責任者の配置」などに取り組み、将来的に持続可能な農産物の供給を目的とする。



福島県立相馬農業高校ブースの様子



当所ブースの様子